

一般社団法人
日本ボランティアチェーン協会 概要



一般社団法人 日本ボランティアチェーン協会

Japan Voluntary Chain Association

中小小売業が自らの主導で結集し、様々な共同事業を推進する、ということは古くから行われておりましたが、ヨーロッパの成功事例の紹介とともに半世紀前の1960年代初期、このような共同事業の推進組織に「ボランタリーチェーン」という名前が冠せられ、明確な目的意識の下に幅広い分野で組織活動が積極的に展開されるようになり、政策当局も中小企業振興施策の一環としてこれを積極的に支援するようになりました。

半世紀の歴史の中で、ボランタリーチェーンは、古くは大型店に対抗しうる競争力確保のため、共同仕入れ、共同物流、情報システムの共同導入などを実施し、目覚ましい成果を挙げてきましたが、近年ではPOSデータを活用した共同のマーケティングに創意工夫を凝らすなどにより、新たな活動の分野を拡げてきています。

こうしたボランタリーチェーン組織下の中小小売業が地域密着の強みを活かして、その重要な一翼を担っていることは改めて指摘するまでもありません。

いま小売業を取り巻く環境は、人口の急激な減少、高齢化の進行など極めて厳しいものがあり、小売店舗数も平成24年には3年前に比べて10%強も減少しています。小売企業が単独で活路を開いていくことは容易ではなく、個々の企業が横に手を携えて共通の課題に立ち向かうことについての重要性が今あらためて認識されています。

私ども協会としては、ボランタリーチェーンの一層の組織強化に努め、中小小売業の団結組織にふさわしい独自の役割を果たしていきたいと考えています。



一般社団法人日本ボランタリーチェーン協会
会 長 泉田 幸雄

沿革・概況

沿革

一般社団法人日本ボランタリーチェーン協会は1966年（昭和41年）5月、政府が革新的な中小商業施策として打ち出したボランタリーチェーンの育成助成策に呼応して設立された全国団体です。

設立の背景には、当時、工業に比べその近代化が遅れていた商業の振興を進め、経済基盤が弱い中小小売業が協同体組織「ボランタリーチェーン」として連鎖関係を結び、規模の利益と分業の利益を発揮できるよう、協会はその支援と指導を行うことを期待されました。それを通じて政府は雇用促進、消費者物価の抑制を狙いとしました。

当時、既にボランタリーチェーン活動を始めていたチェーンのうち、例えば、日本チクタクチェーン（現ジュエラースジャパン）、西川チェーン、エコールチェーン（現エコール・ステイショナーズ・チェーン）、全日食チェーンなど有力チェーンが協会設立と同時に正会員として参加しました。設立時に参加した会員は正会員66チェーン（卸主宰48、小売主宰18）、加盟店数20,641店でした。

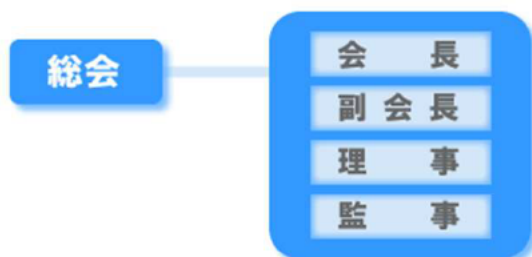
その後、ボランタリーチェーンの考え方が浸透するにつれ、会員数も増加し、1979年（昭和54年）には、153チェーンに拡大しました。その後、わが国のボランタリーチェーンはレギュラーチェーンやフランチャイズチェーンの発展に伴って厳しい競争環境に直面してきましたが、食品、家具、宝石、寝装寝具、医薬品などの異業種にわたる数多くのボランタリーチェーンが会員として参加し、会員にとって、共に学び、研究し、励ましあう「異業種の交流の場」、「情報交換の場」となっています。

概況

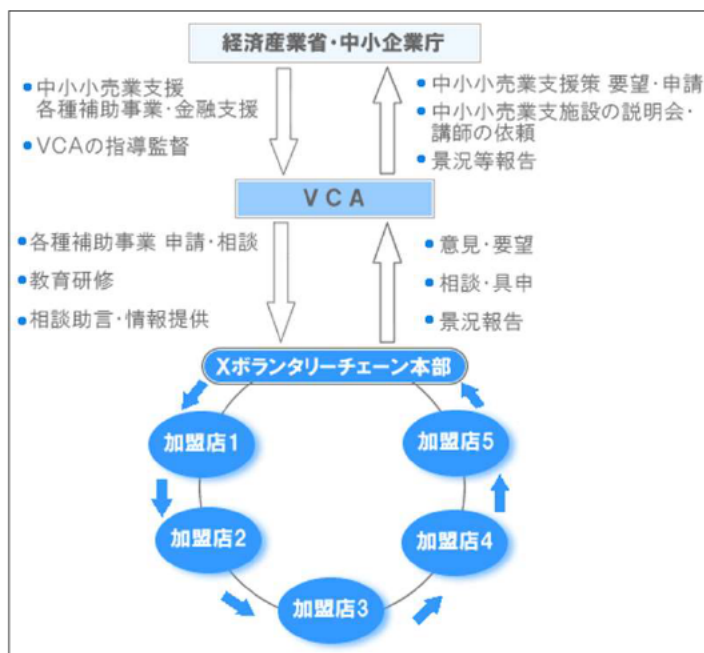
名 称	一般社団法人日本ボランタリーチェーン協会		
英 名	Japan Voluntary Chain Association		
名 誉 会 長	齋藤 充弘 （全日本食品株式会社 相談役）		
会 長	泉田 幸雄 （オールジャパンドラッグ株式会社 顧問）		
副 会 長	菅田 茂 （株式会社ジュエラースジャパン 代表取締役会長） 佐伯 行彦 （協同組合セルコチェーン 理事長） 村内 健一郎 （日本優良家具販売協同組合 理事） 西川 八一行 （西川株式会社 代表取締役社長） 三浦 一光 （コスモス・ベリーズ株式会社 創業者 相談役） 平野 実 （全日本食品株式会社 代表取締役社長）		
加 盟 業 種	食品、ドラッグ、家具、宝飾眼鏡、ギフト、寝装寝具、家電 他		
所 在 地	〒110-0015 東京都台東区東上野1-2-13 カーニープレイス新御徒町3F		
電 話	03-5818-7321	F A X	03-5818-8200
ホームページ	http://www.vca.or.jp	E - m a i l	vca@vca.or.jp

組織体制

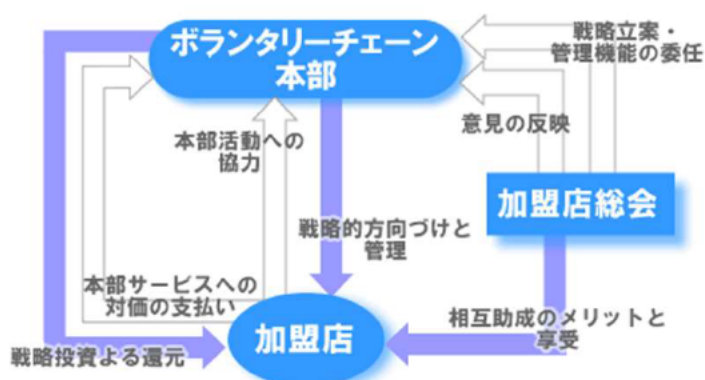
組織図



協会と外部関係組織



参考 ボランティアチェーン組織



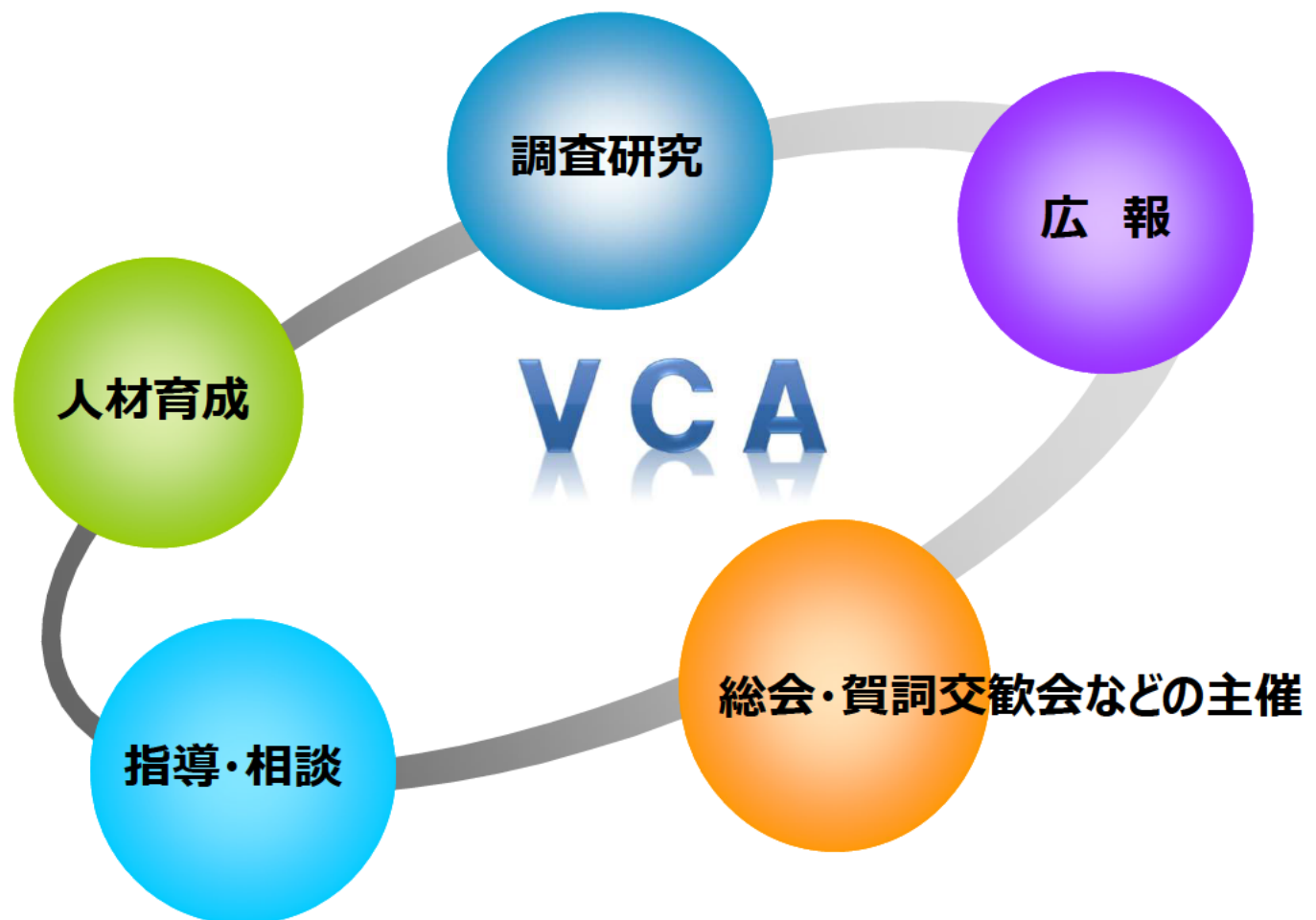
会員体系と加盟資格

一般社団法人日本ボランタリーチェーン協会には、正会員、準会員、賛助会員 3 つの会員制度があります。それぞれの入会資格については、下記の通りです。

会員種別	資 格
正 会 員	1. ボランタリーチェーン事業を営む法人又は団体 2. ボランタリーチェーンに加盟する法人又は団体 3. ボランタリーチェーン事業を営む法人若しくは団体又はボランタリーチェーンに加盟する法人若しくは団体の事業活動を支援する法人又は団体
準 会 員	1. 準会員は加盟店の連携、共同利用等を行っているチェーン組織で、その期間は最長で 2 年とする。
賛助会員	ボランタリーチェーン事業又は本会の目的若しくは事業に賛同する法人、団体又は個人とする。

主な協会事業

一般社団法人日本ボランタリーチェーン協会は、わが国のボランタリーチェーンの健全な発展と普及を図ることにより、中小小売業の経営の改善を通じて、わが国流通機構の合理化、近代化を推進し、国民生活向上に寄与することを目的として、次のような事業活動を行っています。



- (1) ボランタリーチェーンに関する調査及び研究
- (2) ボランタリーチェーンに関する広報
- (3) ボランタリーチェーンに関する相談、指導及び研修
- (4) ボランタリーチェーンが行う公益事業その他の共同事業に対する支援
- (5) ボランタリーチェーンに関する内外諸団体等との連絡及び協調並びにあっせん
- (6) 立法、行政諸機関への具申又は答申
- (7) 前各号に掲げるもののほか、本会の目的を達成するために必要な事業

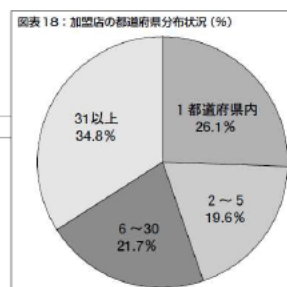
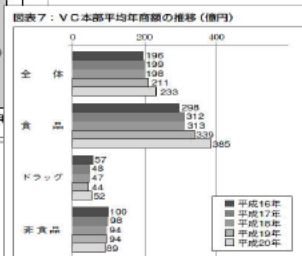
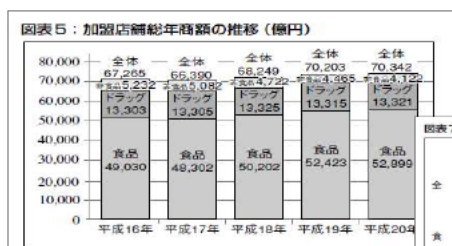
調査研究事業

□ ボランタリーチェーン実態調査

毎年ボランタリーチェーンの実態を調査し、国内のボランタリーチェーンの経営体質の現状、問題点などを把握し、現状と将来を分析した資料に資する事を目的としています。調査結果は、機関誌「Voluntary Chain」に掲載のほか関係機関などへ公開しています。

□ 定期調査

各業界の景況を掴むため、加盟本部・企業を対象に定期的な調査をかけ、各種の数値を集計しています。



広報事業

□ 機関誌

機関誌「Voluntary Chain」を隔月で発行しています。

誌面では、ボランタリーチェーンに関する情報や特集記事、政府官庁情報、各ボランタリー本部、加盟店及び賛助会員の活動を紹介、会議・セミナーなどの協会活動報告、世界のボランタリーチェーン事情をはじめとする各種連載記事など、正会員・賛助会員を中心に幅広く配布しています。

□ ホームページ

ボランタリーチェーンの認知度を高めるような情報、セミナー、イベント情報、業界トピックス、酒類販売管理研修専用ページ、正会員、賛助会員との相互リンク、バナーリンク等により、会員が一体となった総合的な情報発信を行っています。

□ マスコミへの情報提供

記者クラブ「ボランタリー記者会」を開催し、協会活動を中心とした情報を提供し、マスコミを通じてボランタリーチェーンの普及PR活動を行っています。



人材育成・研修事業

スーパーバイザー養成講座

ボランティアチェーンという仕組みの中で、加盟店を指導する本部のスーパーバイザーを養成するための講座を開催しています。

本講座は、チェーン本部のスーパーバイザー（同意語としてリテールアドバイザー、フィールドカウンセラーなど）、並びにメーカー・卸売業のリテールサポート担当者を養成する講座です。トータル100時間の研修により一流のスーパーバイザーを養成します。小売店指導に必要な高度な知識と技術の習得を図り、小売店の経営分析、店舗の改装計画、経営計画の指導方法についてはシミュレーションによる実践教育を行います。

本講座の卒業生は、チェーン本部のスーパーバイザーとして、また、メーカー・卸売業のリテールサポート担当者として、小売店頭で起こりうる問題発見能力とその解決能力を身につけ、小売店の身近な相談者として各フィールドで活躍しています。

本講座は、昭和44年に第1回目を開催し、これまでの卒業生は約3,500名に達しています。



主な講座内容

- 第1期：チェーンオペレーションと流通情報システム等の基本知識
- 第2期：マーチャンダイジングと販売促進活動の実践方法
商圏分析手法と売場づくりの方法など
- 第3期：小売店の経営分析手法と指導方法など
- 第4期：スーパーバイジング活動のディスカッション

V C 交流セミナー

毎年夏季に「V C 交流セミナー」を開催しています。各チェーン、中小店が抱える現状や諸問題を整理し、共通の課題とその解決方法を見出すセミナーで、「交流の場」、「議論の場」として、正会員、賛助会員、一般の方をはじめ広く参加いただいています。



酒類販売管理研修

平成15年9月28日に「酒類販売管理研修実施団体」としての指定を受け、酒類販売管理者向けの「酒類販売管理研修」を実施致しています。

指導・相談事業

チェーン本部に対する指導・相談

協会に加盟するボランタリーチェーン本部の先進事例や成功事例を活かした相談や指導を行っています。あわせて、企業視察の設定や加盟企業同士の交流などのお手伝いをさせて頂いています。その他にも、各社のセミナー等への講師の派遣や紹介、各種政府の助成事業、委託事業等の実施に関する助言・援助・指導、情報化に関する相談、指導も行っています。

コンサルティング活動

「これからボランタリーチェーンを作りたい」、「ボランタリーチェーンの展開を考えている」という企業や団体に対して、ボランタリーチェーン設立結成についての相談、指導を行っています。さらに政府機関、商工会議所、商工会、中小企業団体中央会等と提携した組織化、法人化、協同組合結成等の相談、コンサルティング活動の提供等を行っています。

総会・賀詞交歓会等 行事運営

毎年6月に総会・全国大会、1月に新春賀詞交歓会を開催しています。これらの会合では、各界を代表する企業のトップの方などにご講演を頂いています。正会員、賛助会員はもちろん、官庁や関係団体など大勢の方々にご出席頂き、大変盛大に開催しています。



協会役員

(順不同・敬称略)

役職	所属企業名	業種	所属役職	氏名
名誉会長	全日本食品株式会社	食 料 品	相談役	齋藤 充弘
会 長	オールジャパンドラッグ株式会社	医 薬 品	顧問	泉田 幸雄
副会長	株式会社ジュエラーズジャパン	宝 飾 品	取締役会長	菅田 茂
副会長	協同組合セルコチェーン	食 料 品	理事長	佐伯 行彦
副会長	日本優良家具販売協同組合	家 具	理事	村内 健一郎
副会長	西川株式会社	寝 具	代表取締役社長	西川 八一行
副会長	コスモス・ベリーズ株式会社	家 電	創業者 相談役	三浦 一光
副会長	全日本食品株式会社	食 料 品	代表取締役社長	平野 実
理事	株式会社東京エコー	文 房 具	代表取締役社長	政木 藤二郎
理事	全日食チェーン商業協同組合連合会	食 料 品	特別常勤顧問	田中 彰
理事	株式会社ジョヴィ	医 薬 品	代表取締役社長	高崎 信太郎
理事	株式会社ロマンス小杉	寝 具	代表取締役社長	小杉 源一郎
理事	リビズ株式会社	家 具	代表取締役社長	松下 雅人
理事	山崎製パン株式会社	食 料 品	Yショップ事業部長	野原 光男
理事	西川株式会社	寝 具	第一営業本部 課長	中坂 由行
理事	協同組合セルコチェーン	食 料 品	理事	三吉 敏郎
理事	オールジャパンドラッグ株式会社	医 薬 品	事務局長	五十嵐 俊郎
理事	公益財団法人流通経済研究所	団 体	専務理事	加藤 弘貴
理事	一般社団法人流通問題研究協会	団 体	会長	玉生 弘昌
常務理事	一般社団法人日本ボランティアチェーン協会	団 体	常務理事・事務局長	中津 伸一
常務理事	一般社団法人日本ボランティアチェーン協会	団 体	常務理事	元田 正一
監事	税理士法人OKJ	税 理 士	代表社員	大久保 隆正
監事	株式会社ニホンミー	ク リ ー ニ ン グ	代表取締役社長	本田 誠一郎
顧問	公益財団法人流通経済研究所	団 体	理事	上原 征彦
顧問	一般社団法人流通問題研究協会	団 体	相談役	三浦 功
顧問	関東学院大学 経済学部	大 学	教授	福田 敦
経営審議委員	株式会社イズミック	食 料 品	代表取締役社長	盛田 宏

2020年4月現在

Japan Voluntary Chain Association